

# 世界中で活躍する住友の林業機械。



## SHINYU BACK NUMBER

<p><b>森友 vol.11</b></p> <p>井上産業株式会社 北海道 SH135X-7 WOODY 50 みちのくバイオエナジー株式会社 青森県 SH120LC-7MH MUROTO グラッパ 有限会社 山仕事創造舎 福島県 SH120-7 IWAJUJI GP-45A 有限会社 西湘造林 神奈川県 SH75X-6A NANSEI グラッパ 竹上木材株式会社 和歌山県 SH135X-7 KESLA25RH mkII 福崎島後森林組合 島根県 SH120-7 NANSEI スイングヤード 有限会社 つしまエコサービス 長崎県 SH135X-7 IWAJUJI グラッパ</p>	<p><b>森友 vol.10</b></p> <p>仲山林業株式会社 岩手県 SH120-7 PONSSSE H6 アブタマエコロジー株式会社 福島県 SH135X-7 KESLA25SH mkII 企業組合 山仕事創造舎 長野県 SH135X-7 IWAJUJI グラッパ 静岡市森林組合 静岡県 SH135X-7 KESLA25SH mkII 株式会社 山崎木材市場 兵庫県 SH120-7 道木仕様 福岡都市開発株式会社 福岡県 SH135X-6 KETO150 株式会社 トライ・ウッド 大分県 SH135X-6 NANSEI NPH-48</p>	<p><b>森友 vol.09</b></p> <p>オホーツクバイオエナジー株式会社 株式会社 北海道 SH135X-6 グラッパ 雄勝広域森林組合 秋田県 SH135X-6 WOODY 田中林業株式会社 東京都 SH75X-6AKESLA20SH 株式会社 守岡林産 広島県 SH135X-6KETO 株式会社 高知官材 高知県 SH135X-6 KESLA25SH</p>
<p><b>森友 vol.08</b></p> <p>苫小牧バイオマス発電株式会社 北海道 SH135X-6 SH250-6MH 株式会社 レンタルのニッケン 株式会社 ヨシカワ 石川県 八頭中央森林組合 鳥取県 SH75X-6A 丸和林業グループ 山陰丸和林業株式会社 京都府 SH135X-6</p>	<p><b>森友 vol.07</b></p> <p>齊藤重興業 北海道 SH135X-6 気仙地方森林組合 岩手県 SH120-5 小田原緑化開発 静岡県 SH135X-6 白川町森林組合 岐阜県 SH135X-3B 丹波市森林組合 兵庫県 SH75X-3B 山陽商事 岡山県 SH125X-3 宮崎森林発電所 宮崎県 SH120-5</p>	<p><b>森友 vol.06</b></p> <p>五島森林組合 長崎県 SH135X-3B 四万十町森林組合 高知県 SH75X-3B 飛騨高山森林組合 岐阜県 SH120-5</p>
<p><b>森友 vol.04</b></p> <p>山崎木材 広島県 SH135-3B 美山町森林組合 福井県 SH135X-3B 群馬県森林組合連合/ 群馬県 SH120LC-5SM 北海道ニッタ 北海道 SH135X-3B</p>	<p><b>森友 vol.03</b></p> <p>上野物産 鹿児島県 SH75X-3B 長浜市伊香森林組合 滋賀県 SH135X-3 神子沢林業 山梨県 SH120-3 木村産秋田林業 岩手県 SH120-5 竹田木材 石川県 SH135X-3B よつばフォレスト/浅野産業 北海道 SH135X-3B</p>	<p><b>森友 vol.02</b></p> <p>満洲林業 高知県 SH75X-3 松阪地区木材協同組合 三重県 SH135-3B 秩父広域森林組合 埼玉県 SH75X-3B 西尾林業 奈良県 SH200LC-5SM 日和田林産 岐阜県 SH135X-3 三井物産フォレスト 北海道 SH120-3</p>
<p><b>森友 vol.05</b></p> <p>グリーン・シャイン 鳥取県 SH75X-3B 秋田グリーンサービス 秋田県 SH75X-3B つがる森林組合 青森県 SH135X-3B</p>	<p><b>森友 vol.01</b></p> <p>萬造寺林業 鹿児島県 SH135X-3 美山村森林組合 和歌山県 SH75X-3B 三次地方森林組合 広島県 SH75X-3 二和木材 岩手県 SH120-3</p>	

**住友建機株式会社**  
〒141-6025 東京都品川区大崎2-1-1(ThinkPark Tower) ☎ 03-6737-2600  
ホームページアドレス <http://www.sumitomokenki.co.jp>

Photo studio xiao 小西 徹  
Design TYD design office 山川 達也  
Rewrite Bauhausinc. 中村 得治

# 森友

SHINYU  
vol.12

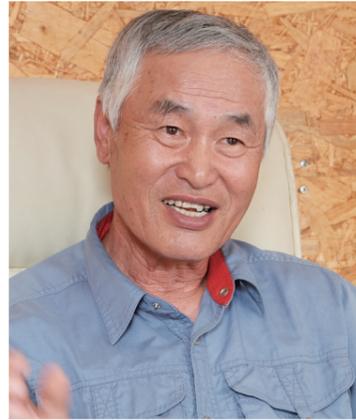


## CONTENTS

- 越智重機林業**  
北海道  
SH135X-7 PONSSSE H6 ハーベスタ
- 有限会社真貝林工**  
北海道  
SH135X-7 MSE-TR-550 トリケラハーベスタ
- 株式会社島田木材**  
富山県  
SH135X-7 KESLA25SHmkII ハーベスタ

## LINE UP

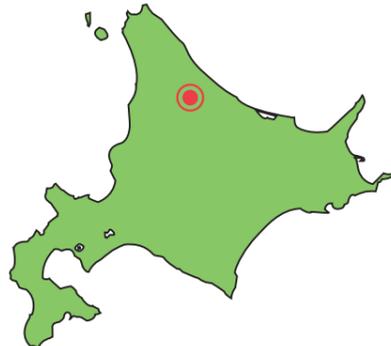
林業現場レポート  
北海道からの今をお届けします。



越智一博代表

### 越智重機林業

本社所在地：北海道上川郡下川町南町38番地6  
電話 01655-4-3535  
設立 平成3年4月



越智重機林業が所在する上川郡下川町は、町面積の約90%を森林が占め、農林業を主産業とする町である。かつては鉱業も盛んで、下川銅山が稼働していた頃は人口も15,000人を超え鉱山の町として繁栄していた。1980年代に鉱山が閉鎖されて以降、過疎化が進み現在では人口も3,000人余りに減少している。

ここ下川町で40年間、林業一筋に歩んでこられた越智重機林業の代表者 越智一博様にお話を聞かせていただいた。「下川町は林業の町といわれていますが、以前は9社あった林業関係の会社も、今は弊社と森林組合と後もう1社の



SH120-5 フェラバンチャザウルスロボ



SH135X-7 PONSSE H6 ハーベスタ

3社だけになっています。弊社の概要は、作業員は私を含めて5人。素材生産量は、去年は皆伐の仕事があったので17,000m<sup>3</sup>ほどありましたが、例年は12,000~13,000m<sup>3</sup>です。内訳は、道有林40%、町有林20%、国有林10%、民有林30%くらいの比率です。施業範囲は下川町、上川北部、美深町になります。上川郡全域で同じ場所で大きくまとまった仕事がないので、移動が多く効率は悪いです。所有している機械は、グラップル4台、フェラバンチャ2台、ハーベスタ3台、フォワーダ4台になります。機械のメーカーは特に決めていませんが、最近では住友建機のものが増えています。こちらが提案した要望などが、機械に反映されているのがありますね。

自分で越智重機林業を始める前は、10年間ほど他の会社に籍置き、機械を持ち込みの形で林業に携わっていました。当時は、このあたりは資源に恵まれ、天然林の本当に立派な木ばかりの素晴らしい森が広がっていました。お世話になっていた会社の社長さんも本当に良い方でしたが、林業の業界全体が、国産材が外国材におされてだんだ

ん不況になっていく時代でした。昔ながらの仕事の仕方では効率が悪く、このままでは大変なことになる、何度も会社に改善案を提案したのですが聞いてもらえませんでしたので、これはもう独立して自分の考えた方法で仕事をしなければと思いました。決意した後も、お世話になった会社にお礼奉公のつもりで1年間勤務して平成3年に独立しました。

独立当時にもっとも苦心したのは伐採した木の搬出でした。昔のやり方は雨が降ったら運べないと諦めて、晴れた日に搬出するだけでした。独立した時に購入した中古のキャリアダンプを使って雨の日でも運べるようにと、鍛冶屋さんに頼んでゴムローラー用の特注のチェーンを作ったり、とにかく試行錯誤の日々でした。グラップル自体がまだほとんど無かった時代ですから、改造したりして作業効率を上げることに努めていました。独立して4年ほどたった時、ハーベスタのデモ車を見て、これからはこれが必要だと思いに購入しました。高性能林業機械は、造材の仕方を変えてしまいました。作業効率を高める努力は今も続いています



SH135X-7 PONSSE H6 ハーベスタ

越智 光司さん

美しい山を次の世代につなぐために



左から 佐藤 政勝さん、越智 光司さん、越智一博 社長、及川 洋さん、川島 光義さん

が、山仕事をしていく上で私が心がけていることがあります。それは、どんな仕事も断らないこと。人がやらない仕事、広葉樹も嫌わないで、手間がかかっても、お金にならなくても、山作りの為に、次の世代につなぐ為に、誰かがやらなければならないことをやる。それが私の信念です。」

●レポート 旭川支店 永井 新市



北海道の樹種別計画対象森林面積割合

林野庁が全国森林計画調査の基礎資料を得る事を目的として平成29年度に実施した「森林資源調査調査」の主な調査結果をとりまとめたものである。平成30年3月1日現在。引用元：林野庁HP <http://www.nriya.naff.go.jp/keikaku/genkyou/h29/>

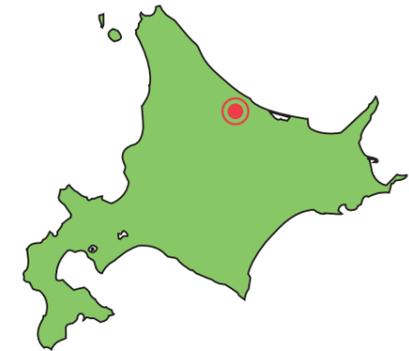
林業現場レポート  
北海道からの今をお届けします。



眞貝 眞佐喜 代表取締役

## 有限会社眞貝林工

本社所在地：北海道紋別郡滝上町幸町14  
電話 0158-29-2354  
創業 昭和26年



有限会社眞貝林工は、北海道北東部 オホーツク総合振興局管内(旧網走支庁)滝上町で1951年(昭和26年)に造林を主業務として創業された。同社が所在する滝上町は、東に隣接する紋別市との境界以外三方を山に囲まれた地形で、基幹産業は林業と農業(主に酪農)である。人口は、ピーク時には14,000人を数えたが、現在では2,500人に満たない過疎の町となっている。ただ、過疎の町で林業を営む会社にありがちな作業員の高齢化の特徴は同社にはない。そのあたりも含めて同社の代表取締役 眞貝 眞佐喜様にお話を伺った。

SH120-5 グラブブル SH135X-7 トリケラハーベスタ



「私が、初代である父が営む会社に入社したのは1977年(昭和52年)でした。業務内容として当時は造林が中心で、利益率も高く稼げる仕事でしたが、日雇いの個人請け負いという不安定な雇用形態でしたので、新たに特に若い人材を確保したくても、なかなかうまくいきませんでした。何とか会社を変えたかったので、1979年(昭和54年)に法人化し、一般企業と同じ雇用条件を用意し、造林から通年作業可能な素材生産へと業態を移行してきました。若い人材を獲得のため、東京へ大学生をリクルートするために幾度も行きましたし、雇用した人材が働きやすいように、林業機械の導入も早くから積極的に取り組みました。それは、スウェーデンやオーストリアへ先進的林業を視察に行った時に、近い将来に日本の林業も高性能林業機械で変わっていくと感じたからです。オペレーターがタッチパネルで作業をキーボード入力する姿は衝撃でした。機械が正確に測尺して掴んで切る、当時日本で使っていた林業機械とは次元が違いました。将来的にこの機械を導入して、その操作を習熟するためには50歳の経験豊富なベテランの林業従事者より、20歳の柔軟な頭を持った素人が学ぶほうが近道で有意義だと思いました。現在弊社には造林2名、造材8名の作業員が所属しています。従業員は若いですが、ほとんどが町外から来た「Iターン組」です。地元の若い人達にも勤めて欲しいので地域のイベントで林業をアピール

したり、弊社独自のインターンシップ制度を用意して、学校に林業を教えに行ったり、学生さんに現場を見てもらったりしています。若い人達に勤めてもらえるような魅力ある企業になっていきたいですね。企業理念ではありませんが、社員に平日頃から言っていることがあります。自然界の中で自然を壊さないように、いかに林業をやっていくかが課題だと思っています。林業機械を使って作業することは自然を壊していく側面も持ち合わせているので、作業道の一つ作る時も、目先の仕事のために中途半端なものをつけるのではなく、山を見て、将来にわたって有意義に使える道を造りなさいと。」

社長の薫陶のもと同社は順調に発展してきたが、社長がご長男である眞貝眞専務の入社が、発展の転機になっているとおっしゃられるので、専務からもお話をいただいた。

「入社して最初に、この会社は非常にざっくりと仕事をしているなど感じました。この仕事に従事している方たちが数字に縛られることを嫌うことは知っていました。しかし、会社を成長させるためにあえて仕事を「数値化」しそれを「見える化」することにしました。日報や報告書に必ず数字を記入してもらっています。数字が自分を拘束するものではなく、自分自身を成長させる、仕事のモチベーションを上げるためのものだとして理解してもらったのです。それをストレスと感じ離職した社員もいます。ただ、その試みを続

SH135X-7 MSE-TR-550 トリケラハーベスタ

# 子どもたちが憧れる 林業をめざして

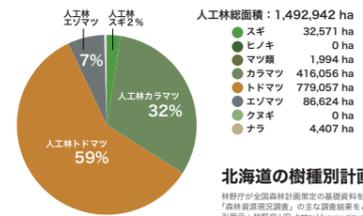


眞貝 眞 専務



左から 藤原 侑さん、角谷 優樹さん、眞貝 眞 専務、西田 健太さん、吉田 智さん、岡野 鉄也さん

けた成果として、一人あたりの生産性の向上が明確に数字に表れています。社員各自が、数字を見て自分の成長を知ること、自信が生まれ、良い意味のプライドを持って仕事に向き合ってくれていると実感しています。ヨーロッパ的林業展に見学に行った時、たくさん子どもたちが遊びに来ていました。そして林業を憧れの職業と思っているようでした。日本の林業を子どもたちに憧れてもらえる仕事にしたいと思っています。」



人工林総面積：1,492,942 ha

●レポート 旭川支店 黒滝 勉



### 北海道の樹種別計画対象森林面積割合

林野庁が全国森林計画策定の基礎資料を得る事を目的として平成29年度に実施した「森林資源実況調査」の主な調査結果をとりまとめたものである。[PDF] 11/11/2018  
引用元：林野庁 HP <http://www.rinya.maff.go.jp/keikaku/genkyou/h29/>

林業現場レポート  
富山県からの今をお届けします。



島田 優平 代表取締役社長

## 株式会社島田木材

本社所在地：富山県南砺市山見1755  
電話 0763-82-0124  
設立 昭和23年

富山県南砺市は、県の南西部に位置し、砺波平野南部と世界遺産に登録された合掌造り集落のある五箇山を中心とした山間地で構成されている。また西に石川県金沢市、南は岐阜県飛騨市と隣接する県境の町でもある。その南砺市の中でも株式会社島田木材が所在する井波地区は、古くから五箇山から切り出された木材の集積地として栄えてきた。そして今日まで続く「木彫刻のまち井波」としての繁栄は、江戸時代中期に焼失した古刹、真宗井波別院を再建するため京都本願寺から派遣された御用彫刻士が、彫刻技術を地元大工に伝えたことに始まる。

創業以来70余年、今も「ものづくりの町」の歴史を紡ぐ匠たちに、良材を届け支え続けてきた株式会社島田木材の島田 優平代表取締役社長にお話を伺った。

「私は、富山県において従来通りの林業を営んでいてはその先の発展は難しいのではと思っています。数字でみ



SH135X-7 KESLA25SHmk II ハーベスタ

ても、素材生産量は県全体で10万㎡程度、これは全国で44～45番目です。山の地形は起伏が激しく、大規模な林業には適していませんし、樹種も杉などの針葉樹林の比率は50%以下です。以前アメリカの森林を見学に行きましたが、あの広い国土で、多くの山が皆伐され、信じられない量の素材生産がなされているのを目の当たりにしました。

富山のような林業不利地で素材生産や生産性を追い求めるやり方では、他地域や他社と比べてしまうと勝負にならないと思いました。また、この地域は豪雪地帯で一年のうち半年の期間しか山に入れません。父祖の時代は、林業は危険だが高収入を得られる季節雇用の業種でした。木材単価が高い時代はそれで良かったかもしれませんが、今の時代に即しているとは思えません。

昨今の生活スタイルを考えると、林業に求められているのは安全で、年間を通じて安定した収入を得られ、一生安心して働ける職場であることだと考えました。私が会社を引き継いだ時に一般の会社と同じように通年雇用、週休二日、各種保険の完備など社員が安心して働ける環境作りに努めました。その成果として、県内の林業従事者の平均年齢は48歳なのですが、弊社は35歳と若手中心の会社に変貌しつつあります。山仕事の経験や技術を軽視するわけではありませんが、社員の安全や負担の軽減を考慮した時、高性能林業機械の導入は必然です。将来的には林業のすべての工程が機械化されても良いと思っています。

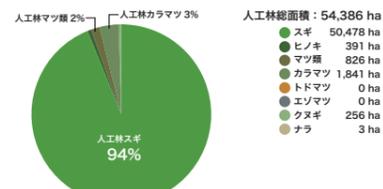
社の方向性として無理な仕事をしない方向に向かっているのですが、社員

の収入を増やして幸せに暮らしてもらうためには、林業を単純な素材生産ではなく、そこに何か付加価値をつけたものにするのが大切だと考えています。

その第一歩として、弊社ではウイスキーの熟成樽の製造に着手しました。利賀地区で産出する広葉樹のミズナラ（ジャパニーズオーク）は最高級ウイスキーの樽材として高い評価を得ています。富山県唯一のウイスキーメーカーである若鶴酒造さんと共同して開発を始めました。樽作りには高度な技術が必要で、井波の熟練した大工さんも参加してくれています。

地域には多くの方がいて、様々な仕事に従事し、それぞれが専門の知識や技術を持ち寄り、何かひとつのものを作り上げていく、そんな「ものづくりの町」の一端を担う会社であり続けたいと思っています。」

●レポート 北陸支店 平田 裕二



富山県の樹種別計画対象森林面積割合

林野庁が全国森林計画策定の基礎資料を得る目的として平成29年度に実施した「森林資源調査」の主な調査結果を示すものである。\*国勢調査による。引用元：林野庁 HP <http://www.rinyo.maff.go.jp/keikaku/genkyou/h29/>

# 地域をつなぐ 新たな林業を めざして

SH135X-7 KESLA25SHmk II ハーベスタ



左から五十野 聡さん、大島 健太郎さん、斎藤 李樹班長、笹岡 恭二さん、黒田 和義さん

